

質 疑 要 旨

八田知子議員 No. 1

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
1 小松空港の運営等への民間活力の導入について 空港の更なる国際化に向け、ターミナルビルの機能強化とあわせ、空港運営に知見を持つ民間事業者と連携していくことが重要と思うが、所見を聞く。	知 事 企画振興部長
2 HPVワクチン接種について (1) 県内の接種状況を聞く。 (2) 医師会等と連携し、接種対象の生徒や保護者向けに啓発カードを作成して、学校を通して中学生等に配布してはどうか。 (3) 県医師会等の医療関係者や学校現場とともに、子宮頸がんの予防に向け取り組んで欲しいが、所見を聞く。	知 事 健康福祉部長
3 ケアマネジャーのシャドウワークについて (1) 本来業務ではない無報酬業務を防ぐため、ケアマネジャーの役割や業務を記載したチラシ等を作成し、利用者に周知すべきと思うがどうか。 (2) 現場の実情を把握するため、行政とケアマネジャーが定期的に意見交換を行う協議の場を設けてはどうか。	知 事 健康福祉部長
4 高齢者のペット取り残し問題と動物愛護について (1) 高齢の飼い主の急変に備え、地域包括支援センターと連携し、飼育状況や緊急時の預け先などを調査し、支援体制を整備してはどうか。 (2) 緊急時のペットの一時保護のため、動物病院や地域の保護団体などの関係機関と連携協定を結ぶなど、体制を整備してはどうか。 (3) 高齢者のペット問題の相談窓口を、各自治体で設置してはどうか。また、医療機関等が相談しやすい体制が必要と考えるが、所見を聞く。 (4) 地域包括支援システムの中に、ペット支援を位置付けるよう、全国知事会で提案してはどうか。	知 事 健康福祉部長

この質疑要旨は、9月16日午後5時55分に取りまとめたものです。

質 疑 要 旨

八田知子議員 No.2

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
(5) 本県でもシニア世代とシニア保護犬猫をつなぐ「シニア f o r シニア」の取組を推進すべきと思うがどうか。 (6) 昨年と今年度までに、動物愛護センターに保護された猫の頭数と譲渡された頭数、譲渡に至らず亡くなった頭数を聞く。 (7) 県内市町における野良猫の不妊去勢手術の助成件数を聞く。 (8) 地域猫活動を長期にわたり継続するためには、活動を支える「地域猫ボランティア」に対する経済的・精神的支援が重要と考えるが、所見を聞く。 (9) 町会や商店街にも「地域猫ボランティア」となってもらえるよう、定期的な講習会を開催してはどうか。 (10) 高齢者のペット飼育が困難になった場合に備え、福祉関係者と動物愛護団体等に「ペットの終活ノート」などのツールを活用してもらいたいと考えるがどうか。 (11) 動物愛護基金を活用するための検討会では、どのような意見が出され、どのように進められたのか。 (12) 先進事例に倣い、地域猫活動を進めてほしいが、総括的な所見を聞く。	
5 働く犬について (1) クマ被害の防止のためのベアドッグの導入に向け、ベアドッグの訓練士を育成する支援はできないか。 (2) 一般社団法人全日本犬訓練士連合協会と提携し、ヒアリの水際対策として、ヒアリ探知犬を活用してはどうか。	知 事 生活環境部長

この質疑要旨は、9月16日午後5時55分に取りまとめたものです。